

ダウン症の患者さん、どう診る？ ～ 一般歯科で知っておきたい基本と工夫 ～



小松 知子
障がい者歯科診療部門 教授

ダウン症のある人は、医療の進歩により平均寿命が大きく延伸し、小児期から成人期、高齢期まで継続して歯科医療を受ける機会が増えている。そのため、地域の歯科医院においてもダウン症患者を診療する機会は今後ますます増加すると考えられる。一方で、ダウン症には特徴的な口腔・全身所見があり、それらを理解したうえで適切な歯科診療を行うことが重要である。

ダウン症では、筋緊張低下や口呼吸、舌突出、歯列・咬合異常などに加え、若年期から重度の歯周病を発症しやすいことが知られている。その背景には、プラークコントロールだけでは説明できない免疫応答や炎症反応の特性も関与している。また、口腔機能の発達や維持・向上への支援も重要であり、摂食嚥下機能を含めた口腔機能を継続的に評価し、ライフコースを通じて適切に介入することが求められる。

本セミナーでは、地域の歯科医院で実践できるダウン症患者への対応として、診療時の工夫、歯周病の特徴と予防・管理、口腔機能へのアプローチ、さらにライフコースに応じた継続的な口腔健康管理について解説する。また、専門医療機関との連携が必要となる場面についても紹介し、地域完結型医療における地域の歯科医院の役割について考える。

ダウン症のある人が、生涯にわたり「食べる」「話す」「笑う」を支える歯科医療を地域で安心して受けられるよう、本セミナーが地域の歯科医院における日常診療の一助となれば幸いである。

【略 歴】

1991 年 3 月 神奈川歯科大学 卒業
1991 年 4 月 神奈川歯科大学 障害者歯科学講座 助手
2002 年 4 月 神奈川歯科大学 障害者歯科学講座 講師
2008 年 7 月～2010 年 8 月 米国ボストン大学歯学部 歯周病学・生物学講座 長期派遣研究員
2021 年 4 月 神奈川歯科大学 全身管理歯科学講座 障害者歯科分野 准教授
2022 年 8 月 神奈川歯科大学 全身管理歯科学講座 障害者歯科分野 教授（現在に至る）
2023 年 4 月～2026 年 3 月 神奈川歯科大学附属病院 副病院長

*主な所属学会等

日本障害者歯科学会会副理事長、専門医指導医
日本老年歯科医学会代議員、専門医指導医
日本抗加齢医学会評議員、専門医
日本ダウン症学会 理事
日本歯科薬物療法学会 理事、専門医
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士